

| | | | |
|--------------|---|-------------|-------------|
| 3類型 | 鉱工業品 | 通巻番号 | 4-19-010 |
| 地域資源名 | 珪藻土 | 認定日 | 平成19年10月12日 |
| 地域 | 石川県金沢市、七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、津幡町、志賀町、宝達志水町 | 所管省庁 | 経済産業省 |

事業名：珪藻土を活用した無灌水型緑化システムの品質向上および販路開拓

会社名：株式会社アースエンジニアリング

所在地：金沢市鞍月2丁目2番地
(石川県繊維会館2F)

連絡先：TEL：076-268-6424

H P：http://www.earth-eec.co.jp/

FAX：076-266-8255

事業概要(新たな活用の視点)

・珪藻土は、10～100 μ mの微細気孔を持つ天然素材であり、全国の60%が能登地区に埋蔵されている。現在、耐火煉瓦、しちりん、住宅壁材などに利用されているが、大きな市場展開には至っていない。
・当社は、平成13年から能登地区に工場進出し、地域資源である珪藻土の特徴を活かしたりサイクル製品の研究に着手し、平成16年に二元構造の気孔構造を持つセラミックス焼結体「ハイセラ」の製造に成功した。その後、この素材の特徴を活かした緑化基盤システムの開発について複数の企業から申し入れがあり、平成18年「無灌水緑化システム：プランツキャスト」の開発に成功し、直販による販売とフィールドテストを実施している。



【施工事例：成田空港第2ターミナル】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・従来システムの短所である①灌水、②施工日数、③劣化、④断熱性などを全て解決したものであり、価格も割安となっている。

◆市場性

・近年の環境問題における条例の施行や助成制度の状況から、平成16年で240億円の市場が、平成20年には750億円市場と見込まれており、年30%の増が予測されている。
・首都圏50%、近畿圏20%、中京圏10%、他20%の見込みである。

◆販路

・首都圏は代理店契約済であるが、近畿圏、中京圏や他地域の代理店を開拓する。
・環境分野での展示会「NEW環境展」などやホームページでのPR活動を実施し認知度を高める。



【無灌水型緑化基盤】

地域資源における関係事業者との連携

・製品改良(取付金物の改良等)は、地元企業との連携体制を構築する。
・植栽場については、生産力の強化のため、地域の業者への生産委託関係を構築する。



【完 成】